



新調され、初めて凧揚げに使われた糸枠—浜松市南区の凧揚げ会場

糸枠 60年ぶり新調

高町 初凧2枚初陣飾る

○：高町(中区)で、組長を経験し、は凧糸を巻き取る「糸枠」を約60年ぶりに新調した。初凧2枚を揚げ、初陣で無事に役目を果たした。

台車に、回転させて糸を巻く枠を取り付けた糸枠は幅90センチ、奥行き120センチ。凧糸を切り合う「合戦」で小回りが利くよう、従来より一回り小さくした。

組長を務めた経験がある栗崎伸光さん(90)と弘義さん(60)の親子が寄贈した。弘義さんは「自分の初凧が揚が

ったり、組長を経験し、たりしたわが町に恩返ししたかった」と寄贈の理由を話す。

新しい糸枠で揚げた第1号は、村松鈴夏ちゃん(3)の初凧。母恵理さん(32)は「娘からた。

糸枠の歴史が始まると思つと光栄」と喜んだ。杉浦久仁組長(42)は「100年くらい頑張ってもらい、前の糸枠より愛される存在にしたい」と力を込めた。

平成26年5月4日
静岡新聞